

高齢男性の介護予防対策は

町長 集まりに出向き、介護予防の重要性を説明する



菅原俊一 議員

◆高齢者支援◆

介護予防の効果検証は

問 高齢者支援事業の介護予防効果の検証はどのように行うか。

町長 「八乙女げんき塾」などは、個別の「基本チェックリスト」を参加当初と年度末に比較。継続や他事業への移行を検討する。

「元気わくわく教室事業」などでも効果検証の必要性は感じている。来年度からは体力測定などで効果の検証を考えている。

利用者の感想は

事業を利用する皆さんの感想

問 や、今後の展開に役立つ声をいただいているか。

町長 様々なご意見をいただいております。より利用しやすい事業とするための参考にしていきます。

男性参加を促す対策は

問 予防教室やサロンの参加者は女性がほとんど。男性の参加を促す対策は

町長 「八乙女げんき塾」で84人中5人、「元気わくわく教室事業」では107人

中8人と、男性の参加が非常に少ない状況。体験教室の開催や高齢者の集まりに出向き介護予防の重要性を説明していく。

◆子育て支援◆

「子育て世代包括支援センター」設置のスケジュールは

問 母子保健法の改正で設置が決まったが、町の取組みは。

町長 可能な限り早くに設置したい。設置で役割や機能が明確になり、ワンストップでの包括的なサービス提供が可能となる。

きめ細かな取組みは

問 妊婦さんに寄り添うきめ細やかなサポートはどうしているか。



にこぽーとで家族とふれあい

男性参加が少ない原因を究明し参加しやすい対策を

町長 保健師が直接面談し必要なアドバイスを行いながら母子健康手帳を交付している。

また、妊婦や家族が対象のマタニティ・クラス開催や個別相談、家庭訪問を実施している。

子育て期も切れ目なく支援に努める。

支援事業の周知を

問 子育て支援事業を直接保護者へ説明する機会と、情報交換の場を作ることが大切と考えるが。

町長 直接の説明は、今後の選択肢として考えていく。

SNSツール活用を

問 若い世代が多く利用するSNSのツールも活用すべきではないか。

健康福祉課長

SNSの活用は、様々な可能性を探っていくが、直接の相談・支援が基本であると考